



## 顧客本位の業務運営に関する取り組み状況 「2023年3月末時点」

2023年6月

### 所属金融商品取引業者のお預かり資産評価額合計（2023年3月末時点）

5,804,251,618円

### 社内研修開催実績

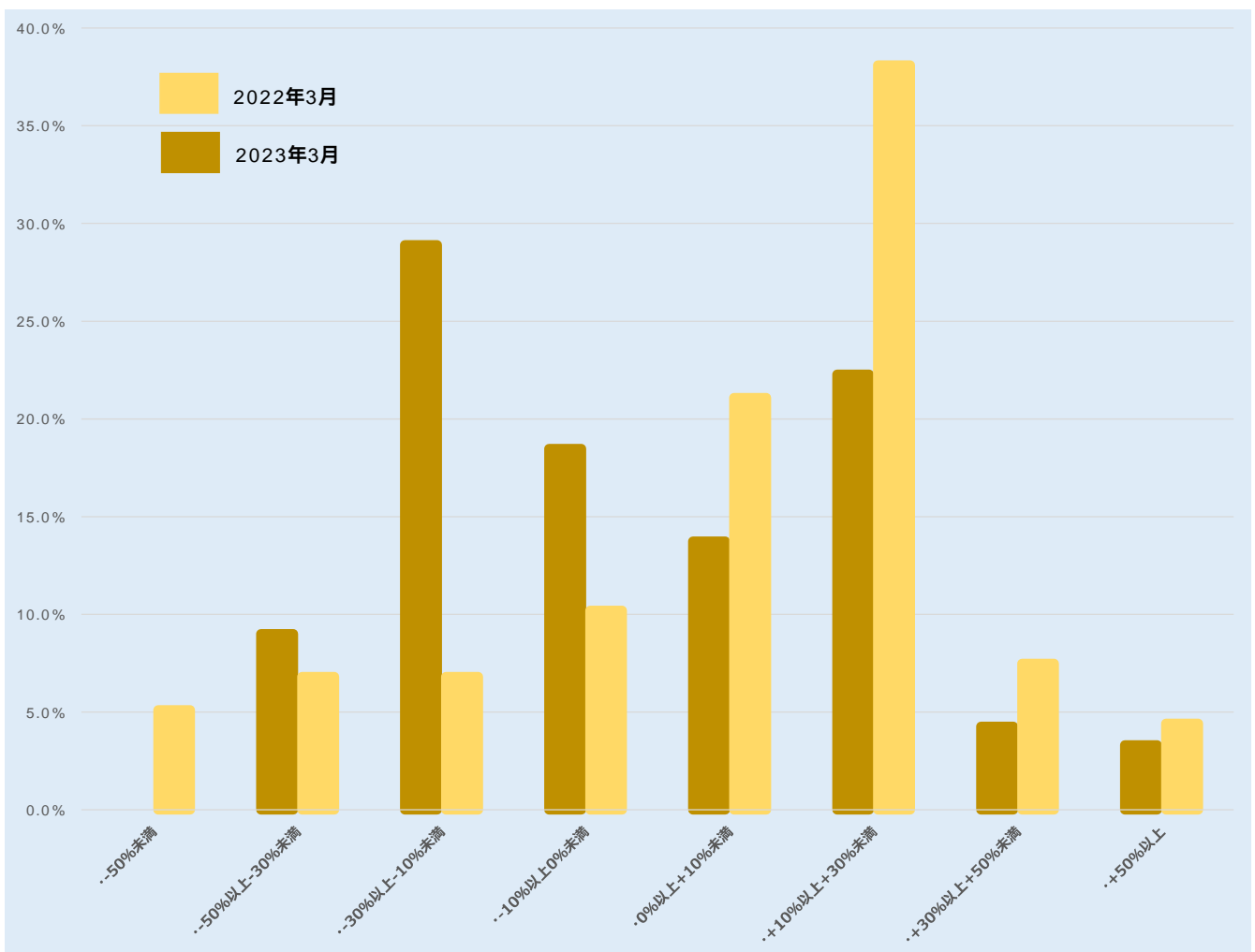
2022年4月～2023年3月に実施した社内研修 … 計 12 回（毎月1回）

### 投資信託の運用損益別顧客比率（共通KPI）（2023年3月末時点）

金融庁が定める「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIの定義」に準じ作成。

・弊社ではファンドラップの取扱いはございません。

・エアーズシー証券の商品は私募投信であるため、算出対象外です。



### 投資信託乗り換え勧誘件数

2022年4月～2023年4月 … 2 件



## 顧客本位の業務運営に関する取り組み状況 「2023年3月末時点」

2023年6月

## 重要情報シート（個別商品編）

株式会社フィナンシャルリンクサービス

投資信託

2023年2月

## 重要情報シート（個別商品編）

## 1. 商品等の内容（当社は、販売委託元の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド（資産成長型）		
組成会社（運用会社）	フィデリティ投資株式会社	販売委託元	株式会社SBI証券
金融商品の目的・機能	フィデリティ・USハイ・イールド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米ドル建て高利回り事業債（ハイ・イールド・ボンド）を主要な投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。		
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	当ファンドの主要投資対象や運用内容について十分な知識や投資経験があり、主要投資対象や運用内容がご自身の投資目的に合致しており、中長期での資産形成を目的とする投資家様にご投資頂くことを想定しております。中長期的に一定程度の投資収益を求めつつ、ある程度の元本割れリスクも許容する投資家様向けのファンドです。		
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。	クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

## &lt;ご質問例&gt;

- ・あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。
- ・この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
- ・この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

## 2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生ずるリスクの内容	当ファンドは、主として債券を投資対象としますので、組入債券の価格の下落や、組入債券の発行者の経営・財務状況の悪化およびそれらに関する外部評価の変化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、為替相場の変動等により損失を被ることがあります。 ※主なリスクは以下のとおりです。（以下に限定するものではありません） 価格変動リスク/信用リスク/金利変動リスク/為替変動リスク
（ご参考） 過去1年間の収益率	4.8%(2022年12月末現在)
（ご参考） 過去5年間の収益率	平均 6.8%/最低-11.9%(2020年03月)/最高 27.3%(2021年03月) (2018年01月～2022年12月の各月末における直近1年間の数字)

※損失リスクの内容の詳細は【交付目録見書】の「2.投資リスク」、運用実績の詳細は「3.運用実績」に記載しています。

## &lt;ご質問例&gt;

- ・上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
- ・相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

## 3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生いたします）

購入時に支払う費用 （販売手数料など）	3.30%
継続的に支払う費用 （信託報酬など）	ファンドの純資産総額に対し、年1.65%（税抜1.50%） （信託報酬＝運用期間中の基準価額×信託報酬率） その他費用・手数料等が実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率、上限等を表示することはできません。なお、法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等について、年0.10%（税込）を上限としてファンドから支払われます。
売却（解約）時に支払う費用 （信託財産留保額など）	ありません。
運用成果に応じた費用 （成功報酬など）	ありません。

※上記以外に生じる費用を含めて詳細は【交付目録見書】の「4.手続・手数料等」に記載しています。

## &lt;ご質問例&gt;

- ・私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
- ・費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。



## 顧客本位の業務運営に関する取り組み状況 「2023年3月末時点」

2023年6月

## 4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

当ファンドの償還期限はありません。ただし、ファンドの受益権の残存口数が30億円を下回った場合等には、繰上償還となる場合があります。
当ファンドに解約手数料および信託財産留保額は生じません。
ファンドの資金管理を円滑に行なうため、1日1件5億円を超えるご換金はできません。また、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及び既に受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消す場合があります。 ニューヨーク証券取引所の休業日においては、お申込みの受付は行いません。

※詳細は【交付目録見書】の「4.手続・手数料等」に記載しています。

## &lt;ご質問例&gt;

・私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

## 5. 当社の利益とお客様の利益が反する可能性

お客様が当ファンドを保有されている間に負担する（組成会社に支払う）信託報酬から、SBI証券は年0.7975%（税抜年0.725%）の手数料（販売会社報酬）を頂きます。これは、運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価です。
お客様に当ファンドを販売した場合、SBI証券は、お客様が支払う代金から本書【3.費用】に記載の販売手数料を頂きます。商品や関連する投資環境の説明及び情報提供等、並びに購入に関する事務コストの対価として、購入時に頂戴するものです。
当社は、これらのSBI証券が受け取る手数料（販売手数料、販売会社報酬）に一定の料率を乗じた金額を受け取ります。この料率はファンド毎に異なることはありません。
当社は、この商品の組成会社等との間で資本関係等の特別の関係はありません。当社の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

※利益相反の内容とその対処方針については、弊社「顧客本位の業務運営に関する基本方針」をご参照ください。

<https://www.f-ls.co.jp/faq.html>

## &lt;ご質問例&gt;

・あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

## 6. 租税の概要（NISA、つみたてNISA、iDeCoの対象が否かもご確認ください）

- ・税金は表に記載の時期に適用されます。
- ・以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。


課税時期	項目	税金
分配時	所得税及び地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金（解約）時または償還時	所得税及び地方税	譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

・この商品のNISA、つみたてNISA、iDeCoの取扱いは以下のとおりです。

NISA	つみたてNISA	iDeCo
○	×	×

※詳細は【交付目録見書】の「4.手続・手数料等」に記載しています。

## 7. その他参考情報（契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください）

「目録見書補完書面」および組成会社が作成した「目録見書」	<a href="https://www.sbisec.co.jp/ETGate/?_ControlID=WPLETsmR001Control&amp;_DataStoreID=DSWPLETsmR001Control&amp;_PageID=WPLETsmR001Sdt110&amp;_ActionID=noLogin&amp;sw_page=Trust&amp;cat1=home&amp;cat2=none&amp;getFlg=on&amp;sw_param1=popup&amp;sw_param2=41%3B32313135">https://www.sbisec.co.jp/ETGate/?_ControlID=WPLETsmR001Control&amp;_DataStoreID=DSWPLETsmR001Control&amp;_PageID=WPLETsmR001Sdt110&amp;_ActionID=noLogin&amp;sw_page=Trust&amp;cat1=home&amp;cat2=none&amp;getFlg=on&amp;sw_param1=popup&amp;sw_param2=41%3B32313135</a>	
------------------------------	---	---

## お問い合わせ先

- ・株式会社 フィナンシャルリンクサービス
- ・〒141-0022 東京都品川区東五反田5-27-10 ロイヤルハウス4F
- ・TEL：03-5798-7607
- ・関東財務局長(金仲)第463号
- ・所属金融商品取引業者 株式会社SBI証券（登録番号：関東財務局長（金商）第44号）



## 顧客本位の業務運営に関する取り組み状況 「2023年3月末時点」

2023年6月

## 重要情報シート（金融事業者編）

## 一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（金融事業者編）

1. 当社の基本情報 （当社がお客様に金融商品の販売仲介をする者です）			
社名	株式会社フィナンシャルリンクサービス		
登録番号	関東財務局長（金仲）第463号		
加入協会	一般社団法人 MDRT 日本会 一般社団法人 ファイナンシャル・アドバイザー協会 一般社団法人 日本IFA協会 特定非営利活動法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 生命保険修士会		
所属金融商品取引業者	スーパーファンド・ジャパン株式会社 株式会社SBI証券 エアーズシー証券株式会社		
当社の概要を記したウェブサイト	<a href="https://www.f-ls.co.jp/">https://www.f-ls.co.jp/</a>		
2. 取扱商品 （当社がお客様に提供できる金融商品の種類は次のとおりです）			
預金（投資性なし）	－	預金（投資性あり）	－
国内株式	○	外国株式	○
円建債券	○	外貨建債券	○
特殊な債券（仕組債等）	○	投資信託	○
ラップ口座	－	ETF、ETN	○
REIT	○	その他の上場商品	－
保険（投資リスクなし）	○	保険（投資リスクあり）	○
これら以外の商品	－		
3. 商品ラインナップの考え方（商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです）			
当社は、クライアント資産の総合的な最適化を図るゲートキーパーとして、クライアントの利益を最優先に考え、中長期的な視点をもった資産形成、資産管理を目的にポートフォリオや運用方針を提案しております。また、その目的達成に有効であると考えられる金融商品の取扱いのために、内外株式と債券、国内公募投資信託を主にSBI証券と、相関性が低く独自性の高い金融商品をスーパーファンド・ジャパン、エアーズシー証券と業務委託契約を行い商品提供を受けております。			
4. 苦情・相談窓口			
当社お客様相談窓口	03-5798-7607 ※平日9-15時		
特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター	0120-64-5005 月～金 9-17時 祝日（振替休日含む）、年末年始（12/31-1/3）除く		
金融庁金融サービス利用者相談室	0570-016811 (03-5251-6811)		

※各所属金融商品取引業者の窓口は各社の契約締結前交付書面をご参照ください。



## 顧客本位の業務運営に関する取り組み状況 「2023年3月末時点」

2023年6月

投資信託残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン（共通KPI）（2023年3月末時点）

## 投資信託残高上位20銘柄(2022年3月末時点)

	銘柄名
1	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド
2	JPMベスト・インカム(年1回決算型)
3	スーパーファンド・ジャパン グリーン (ゴールド 円・クラス)
4	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(資産成長型)
5	スーパーファンド・ジャパン レッド(シルバー円・クラス)
6	スーパーファンド・ジャパン レッド (ゴールド円・クラス)
7	グローバル・リート・トリプル・プレミアム・ファンド毎月分配型
8	スーパーファンド・ジャパン レッド(円・クラス)
9	フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)
10	JPMグローバル医療関連株式ファンド
11	通貨選択型アメリカン・エクイティ・クワトロ(毎月分配型)
12	JPMワールド・CB・オープン
13	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Cコース毎月決算型(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型
14	ブラックロック・ゴールド・ファンド
15	iシェアーズ ゴールドインデックス・ファンド(為替Hなし)
16	HSBC ブラジル オープン
17	netWIN GSテクノロジー株式ファンドB(ヘッジなし)
18	アメリカン・ドリーム・ファンド
19	日興ピムコ・ハイインカム・ソブリンF(毎月)トルコリラ
20	DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズブラジルリアル



## 顧客本位の業務運営に関する取り組み状況 「2023年3月末時点」

2023年6月

## 投資信託残高上位20銘柄(2023年3月末時点)

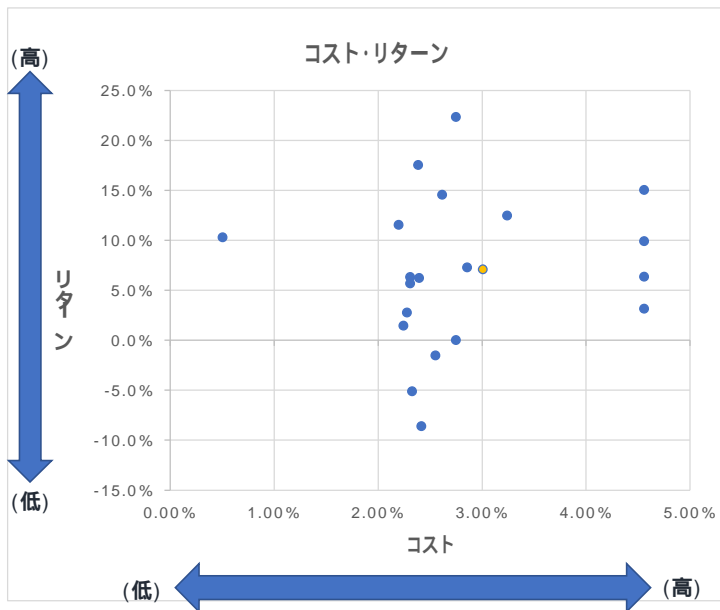
	銘柄名
1	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド
2	JPMベスト・インカム(年1回決算型)
3	スーパーファンド・ジャパン・グリーン(ゴールド円クラス)
4	フィデリティ・米国株式ファンドBコース(資産成長型・為替ヘッジなし)
5	スーパーファンド・ジャパン・グリーン(円クラス)
6	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(資産成長型)
7	JPMグローバル医療関連株式ファンド
8	フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)
9	グローバル・リート・トリプル・プレミアム・ファンド(毎月分配型)
10	iシェアーズ ゴールドインデックス・ファンド(為替Hなし)
11	通貨選択型アメリカン・エクイティ・クワトロ(毎月分配型)
12	JPMワールド・CB・オープン
13	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Cコース毎月決算型(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型
14	ブラックロック・ゴールド・ファンド
15	スーパーファンド・ジャパン・グリーンC(円クラス)
16	netWIN GSテクノロジー株式ファンドB(ヘッジなし)
17	HSBC ブラジル オープン
18	日興ピムコ・ハイインカム・ソブリンF(毎月)トルコリラ
19	アメリカン・ドリーム・ファンド
20	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース



# 顧客本位の業務運営に関する取り組み状況 「2023年3月末時点」

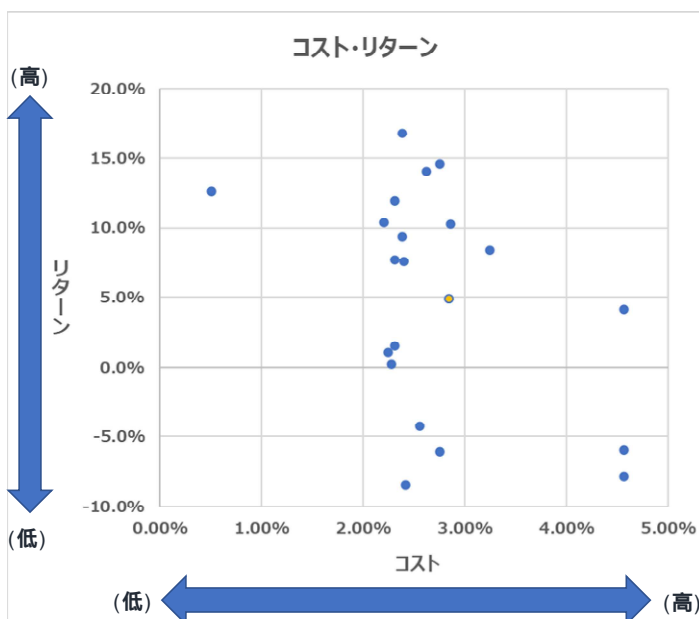
2023年6月

### 2022年3月末時点



残高加重平均値	コスト	リターン
	3.01%	7.07%

### 2023年3月末時点



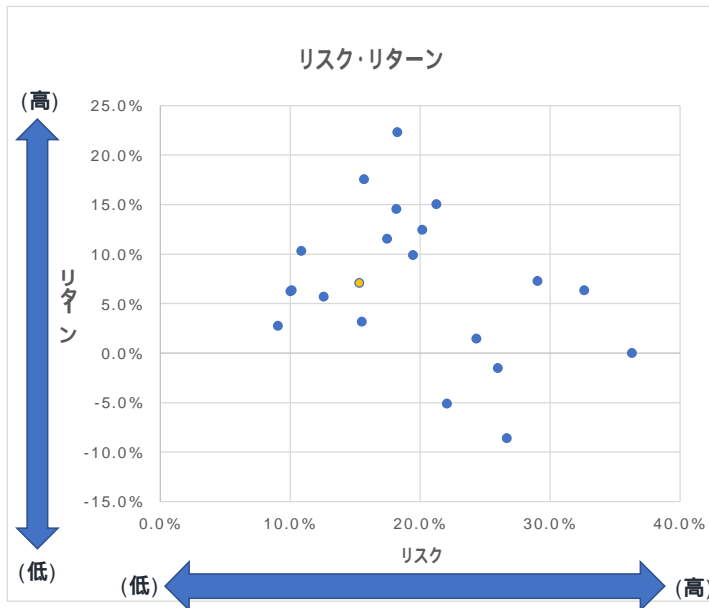
残高加重平均値	コスト	リターン
	2.84%	4.84%



## 顧客本位の業務運営に関する取り組み状況 「2023年3月末時点」

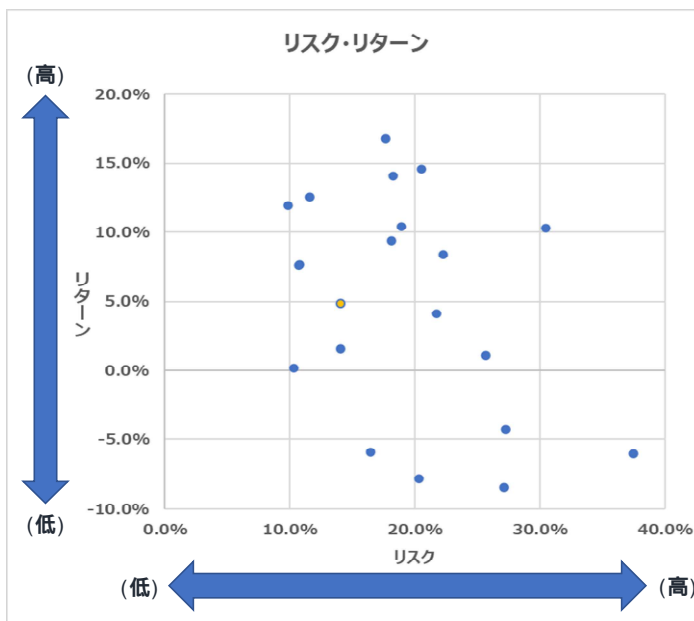
2023年6月

2022年3月末時点



残高加重平均値	リスク	リターン
	15.34%	7.07%

2023年3月末時点



残高加重平均値	リスク	リターン
	14.12%	4.84%





## 顧客本位の業務運営に関する取り組み状況 「2023年3月末時点」

2023年6月

⑧ (ご参考) 弊社取扱全銘柄上位20銘柄リスト(2023年3月末時点)

	全取扱上位20銘柄	証券会社
1	ピクトリー・アーケイディア・ファンド(円クラス)	エアーズシー証券
2	フィデリティ・U S ハイ・イールド・ファンド	SBI証券
3	JPMベスト・インカム(年1回決算型)	SBI証券
4	AAAP ショーンフェルド・ファンダメンタル・エクイティ(SFE)・ファンド	エアーズシー証券
5	スーパーファンド・ジャパン・グリーン(ゴールド円クラス)	スーパーファンド・ジャパン
6	AAAP ワールドクオントミレニアム(WQM)・ファンド	エアーズシー証券
7	フィデリティ・米国株式ファンドB(資産成長・為替ヘッジなし)	SBI証券
8	AAAP パートナー・ヘルスケア(PHC)・ファンド	エアーズシー証券
9	ピクトリー・アーケイディア・ファンド(米ドルクラス)	エアーズシー証券
10	スーパーファンド・ジャパン・グリーン(円クラス)	スーパーファンド・ジャパン
11	グリーン シルバー 円	スーパーファンド・ジャパン
12	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(資産成長型)	SBI証券
13	オールウェザー JPY	スーパーファンド・ジャパン
14	フィデリティ・米国株式ファンドD(分配重視・為替ヘッジなし)	SBI証券
15	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	SBI証券
16	JPMグローバル医療関連株式ファンド	SBI証券
17	グリーン 米ドル	スーパーファンド・ジャパン
18	オールウェザー Gold	スーパーファンド・ジャパン
19	フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	SBI証券
20	グローバル・リート・トリプル・プレミアム・ファンド毎月分配型	SBI証券

## 顧客本位の業務運営に関する取り組み状況 「2023年3月末時点」

2023年6月

### 家計財産簿の紹介

クライアントごとに異なる事情に最適な解決案のご提示をするために、当社ではカウンセリングの時間をしっかりとるようにしています。丁寧なヒアリングを通じて、クライアントがどのような成果を希望されているのか、リスク保全について等、しっかり把握いたします。ヒアリングした情報を可視化するツールとして家計財産簿の活用しております。

### 家計財産簿の内容

お客さまから提供いただいた情報をもとに現状分析を行い、家計財産簿を提出致します。

#### ファミリーミッション・目的の明確化

- ◆ お客さまのファミリーミッション、財務的目標
- ◆ 次世代、次々世代への財産承継の考え方



#### 家族構成・財産等の現状把握

- ◆ 家族構成・財産構成の現状
- ◆ 相続税の概算計算
- ◆ 財産明細（家計貸借対照表の作成）

預貯金、有価証券、生命保険、年金保険、不動産、自社株、退職金、その他財産、債務



#### 現状分析・プランの検討

- ◆ 家計貸借対照表項目の分析と検討
- ◆ 金融ポートフォリオの主要資産クラス配分のモデルと現状比較
- ◆ 生命保険、医療保険の既契約分析
- ◆ 金融ポートフォリオの時価値洗と評価損益
- ◆ 相続人別財産分割案と納税可能性分析
- ◆ 財産承継プランの試算と検討



#### 関連情報のご提供

- ◆ 金融ポートフォリオ、保険、税務に係わるリスク分析と直近のアクションプランの明示
- ◆ 今後6ヶ月以内に発生するイベント、ご家族の誕生日、生命保険の満期、債券の償還、クーポンの支払い等のイベントを事前に表示します
- ◆ ノンファイナンシャルな情報（巻末コラム）  
ーワイン、美術品、旅行等ノンファイナンシャルな情報をお届けします



### コンサルタントが研修講師を務めた回数

2022年4月～2023年3月にコンサルタントが外部研修講師を務めた回数・・・計33回

### お問い合わせ先

・株式会社フィナンシャルリンクサービス 受付担当：info@f-ls.co.jp